



2000人の女性に聞いた
わたしと社会の“幸福度”
調査 サマリー

私はソコソコ
幸福だけど
日本はなんだか
不幸せ?

2012.02

サンケイリビング新聞社

調査概要/回答者プロフィール

あなたの「幸福度」を教えてください

【調査概要】

全国を対象としたWebアンケート 合計有効回答数:2006

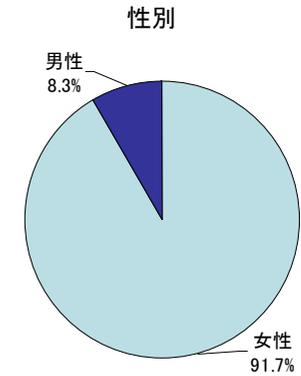
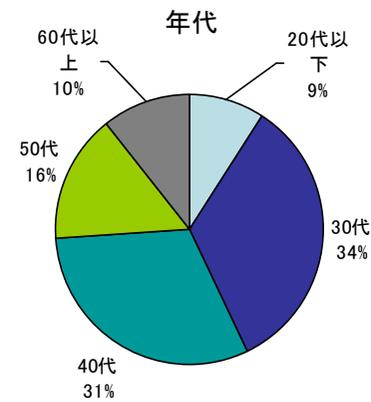
①主婦を対象としたWebサイト「えるこみ」上のアンケート

- 有効回答数:1568
- 調査期間:2012年02月16日～22日

②OLを対象としたWebサイト「citywave」上のアンケート

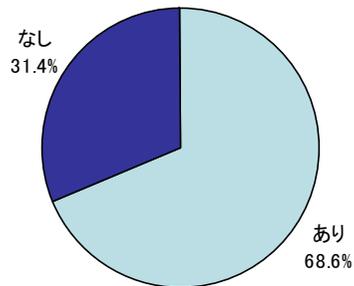
- 有効回答数:438
- 調査期間:2012年2月28日～3月2日

※一部異なる設問あり

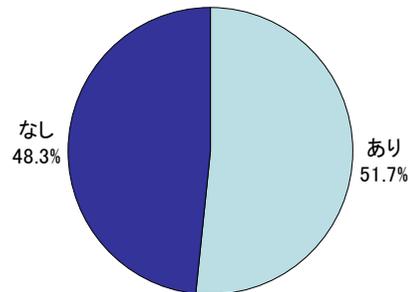


平均年齢 43.0歳

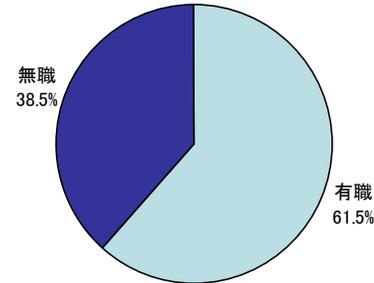
配偶者の有無



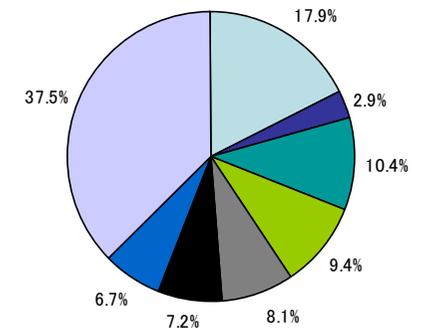
子どもの有無



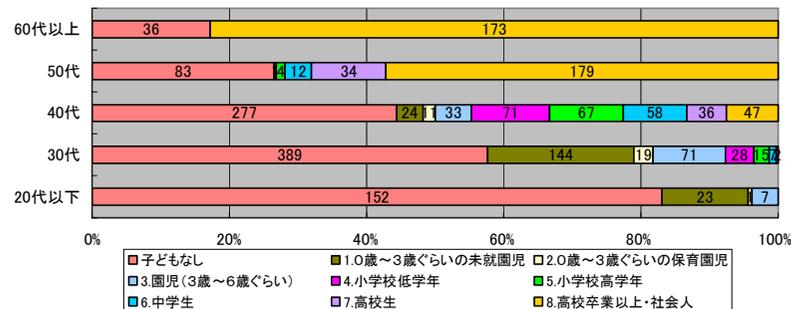
仕事



末子の状況



年代別 末子の状況



- 1.0歳～3歳ぐらいの未就園児
- 2.0歳～3歳ぐらいの保育園児
- 3.園児(3歳～6歳ぐらい)
- 4.小学校低学年
- 5.小学校高学年
- 6.中学生
- 7.高校生
- 8.高校卒業以上・社会人

個人の幸福度(平均)

6.58 点

*10点満点中

わたしの幸福度は平均以上

76.0 %



日本の社会の幸福度(平均)

4.97 点

*10点満点中 citywaveのみの設問

今の日本の社会は？

幸福でない(あまり+幸福でない)

51.8 %

幸福(とても+どちらかという)

39.9 %

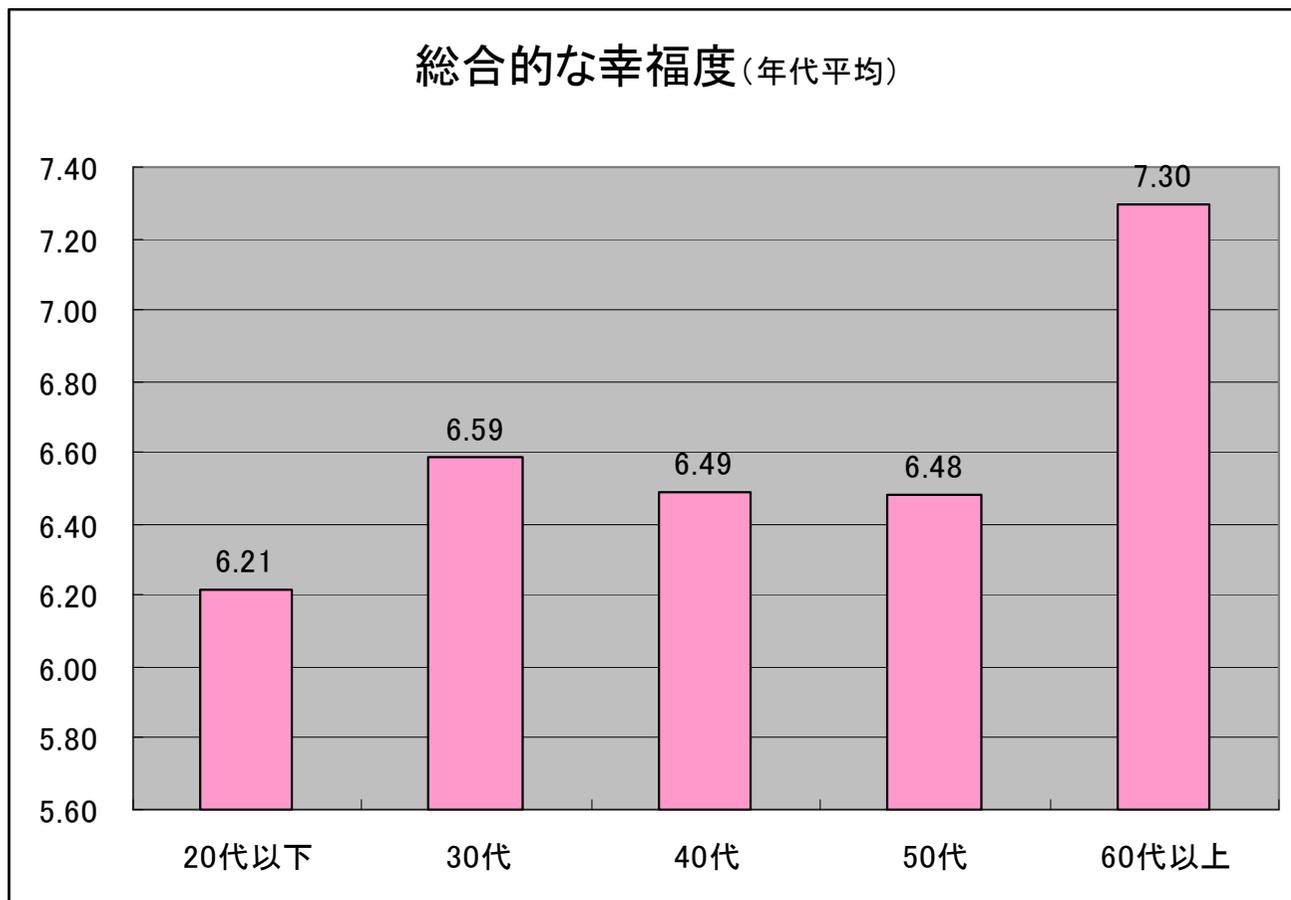
どちらともいえない

8.3 %

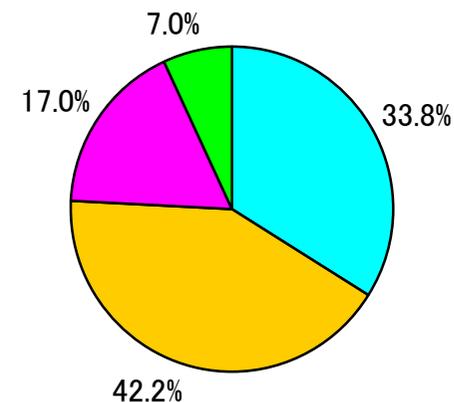
若い世代が幸せを感じにくい

全体の平均は6.58点

60代以上の総合的な幸福度は7.30点と特に高い。幸福度が最も低いのは6.21点の20代以下



総合的な幸福度は平均より上か？



自分の総合的な幸福度が、世の中の平均(と想定されるもの)よりも高いと感じている人は、約1/3。平均的と答えた人が最も多く42.2%。

76%が自分の幸福度は平均かそれ以上と考えている。

- 1. 上だと思う
- 2. 平均的だと思う
- 3. 下だと思う
- 4. 分からない

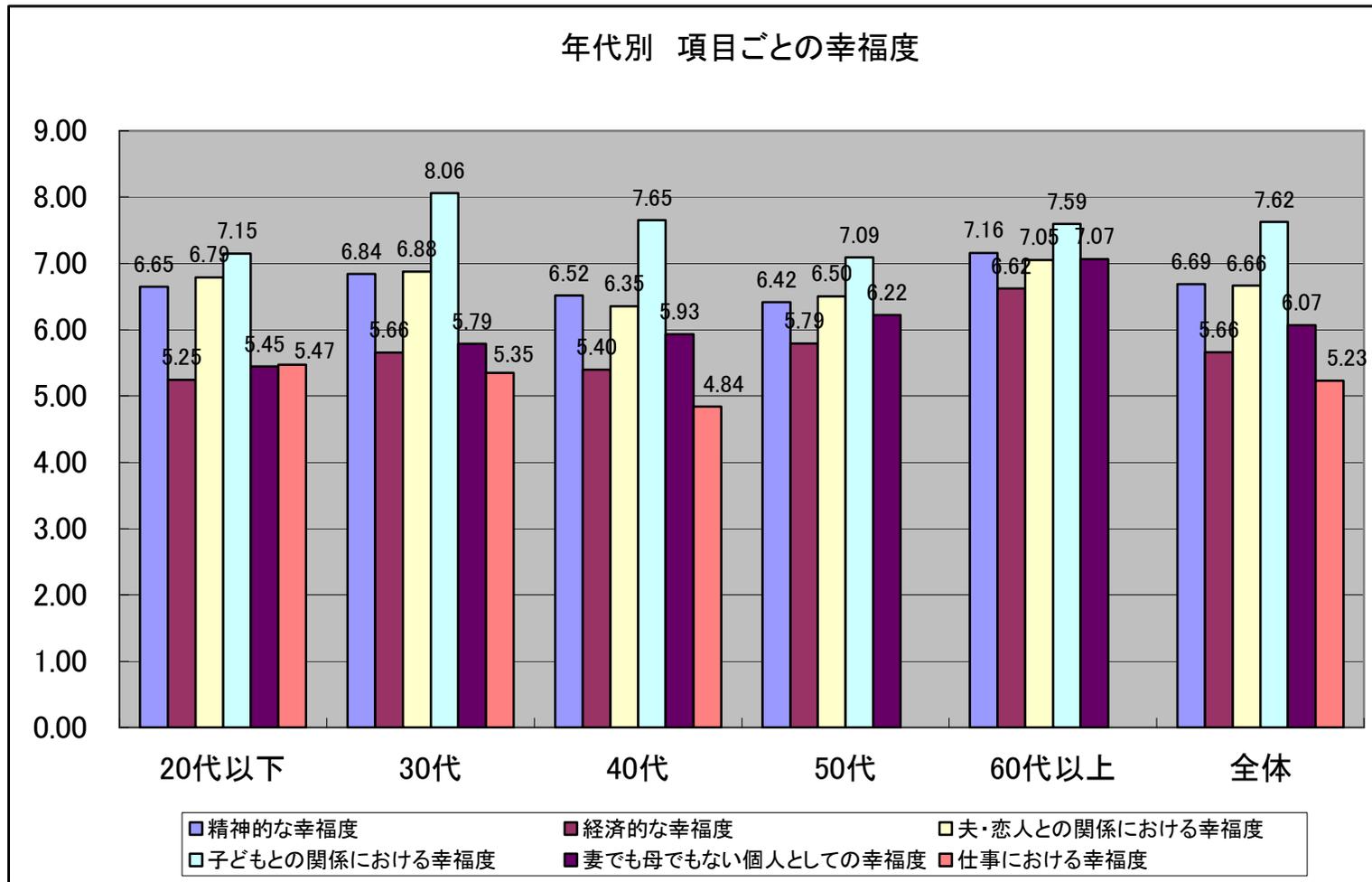
すべての年代でもっとも高い「子どもとの関係における幸福度」

中でも30代の女性は「子ども」によって満たされる傾向が強い。

一方で、低いのは「仕事における」「経済的な」幸福度。

40代の「仕事」での幸福度は特に低い傾向が見られる。

また、「妻でも母でもない個人としての」幸福度は、年代とともに上昇していく。



※仕事における幸福度はcitywaveのみ、個人としての幸福度はえるこみのみの設問

経済的な幸福度は、“満足できる月収”の多さには比例しない

20代は“満足できる”希望月収も経済的な幸福度も最も低いが、
次に希望月収が低い60代の経済的幸福度はもっとも高い

現在の経済的な幸福度と“満足できる”世帯月収 年代別

年代	経済的な幸福度	世帯月収(平均)※円
20代以下	5.25	401,266
30代	5.66	437,143
40代	5.40	489,320
50代	5.79	497,468
60代以上	6.62	427,273
全体	5.66	457,655

※平均は「100万円以上(FA)」の回答を除き算出

仕事の有無と経済的な幸福度、満足できる世帯月収(円)
※平均

	平均年齢(歳)	経済的な幸福度	満足できる月収(円)※平均
仕事あり(フルタイムワーク、パート・アルバイトなど)	40.1	5.44	457,700
仕事なし(専業主婦)	45.9	6.12	472,624

今回の調査では、仕事をしている女性の平均年齢は、専業主婦よりも5.8歳若かった。その影響もあり、専業主婦は働く女性に比べて、“満足できる”希望月収、経済的な幸福度のどちらも高い、という結果になった

経済的な幸福度と“満足できる”世帯月収 末子の状況別

末子の状況	平均年齢(歳)	経済的な幸福度	世帯月収※平均(円)
1.0歳～3歳ぐらいの未就園児	34.3	6.32	444,366
2.0歳～3歳ぐらいの保育園児	37.8	5.57	592,000
3.園児(3歳～6歳ぐらい)	37.3	5.66	459,091
4.小学校低学年	40.9	5.80	525,000
5.小学校高学年	43.3	5.78	544,118
6.中学生	45.3	5.88	513,793
7.高校生	48.8	5.46	526,316
8.高校卒業以上・社会人	58.2	6.41	469,427
全体	43.0	5.66	485,990

均は「100万円以上(FA)」の回答を除き算出

共働きが前提の0～3歳の保育園児のいる家庭では、“満足できる”希望月収は最も高く、未就園児のいる家庭よりも約15万円多い。

その一方で経済的な幸福度は2番目に低く、働きながら子どもを育てるうえでのしかかる(必要と感ぜられる)負担の重さを窺わせる。
※経済的な幸福度が一番低いのは末子が高校生の家庭

末子が高校卒業以上・社会人になると、支出が抑えられることもあり、満足できる金額が下がる。経済的な幸福度はもっとも高い層。

幸せに欠かせないもの～まずは「健康」であること、そして「夫」

あなたの幸せのために欠かせないものは何ですか（5つまで）	順位	20代以下	順位	30代	順位	40代	順位	50代	順位	60代以上	順位	総計
家族の健康	3	53	1	311	1	328	2	159	2	111	1	962
自分の健康	2	57	4	255	2	298	3	145	1	112	2	867
夫	7	44	2	305	4	287	4	128	4	98	3	862
経済的な安定	1	60	5	244	3	288	1	162	3	104	4	858
子ども	8	34	3	269	5	277	5	128	5	82	5	790
経済的な余裕	5	45	7	152	6	166	6	84	6	52	6	499
親	4	51	6	220	7	146	10	36	16	11	7	464
自分の好きなように使える時間	10	27	10	101	8	105	7	58	8	39	8	330
おいしい食事	5	45	8	120	10	80	15	25	12	26	9	296
家族と過ごす時間	9	28	9	108	9	94	17	22	14	17	10	269
ぐっすり眠れること	11	23	11	95	11	77	9	39	13	22	11	256
生きがい	16	15	13	58	12	61	8	57	10	31	12	222
趣味	13	20	12	60	13	60	11	34	9	32	13	206
周囲から必要とされている実感	16	15	16	40	15	50	12	30	15	13	14	148
家	21	10	21	29	14	53	13	29	11	26	15	147
仕事	16	15	14	55	18	38	14	26	21	6	16	140
友達と過ごす時間	14	18	18	39	16	46	18	21	20	7	17	131
ペット	21	10	20	33	17	43	16	24	17	10	18	120
そのほかの家族	20	14	19	37	19	28	21	11	22	6	19	96
周囲から大切にされている実感	16	15	22	25	20	28	23	10	23	6	20	84
友達	14	18	15	48	28	8	34	0	34	0	21	74
恋人	12	22	16	40	27	9	31	2	31	0	22	73
孫	35	0	34	0	30	3	19	20	7	45	23	68

20代以下と50代の1位は「経済的な安定」。

30代、40代の1位は「家族の健康」。

60代以上は、「自分の健康」が1位。また7位には「孫」が登場。

子ども	1	613
夫	2	482
家族の健康	3	481
経済的な安定	4	400
自分の健康	5	369

夫	1	820
家族の健康	2	767
子ども	3	730
経済的な安定	4	616
自分の健康	5	588

自分の健康	1	279
経済的な安定	2	242
家族の健康	3	195
経済的な余裕	4	172
自分の好きなように使える時間	5	140

ただし、子どもがいる人のみを集計すると1位は「子ども」、2位が「夫」。

配偶者のいる人のみを集計すると1位は「夫」。

自分の幸せにもっとも欠かせないものをひとつだけ選ぶと...

Q36-5.あなたの幸せのために欠かせないものは何ですか	順位	20代以下	順位	30代	順位	40代	順位	50代	順位	60代以上	順位	全体
自分の健康	1	24	2	95	2	102	1	61	1	46	1	328
家族の健康	4	14	1	96	1	110	2	52	3	36	2	308
夫	2	20	4	89	4	75	3	27	2	37	3	248
子ども	3	15	3	92	3	82	6	16	8	5	4	210
経済的な安定	6	10	5	43	6	22	4	25	4	12	5	112
経済的な余裕	7	8	6	28	5	33	7	14	5	9	6	92
家族と過ごす時間	4	14	7	25	7	19	18	1	7	6	7	65
生きがい	7	8	8	18	11	8	5	17	6	8	8	59
自分の好きなように使える時間	16	3	10	13	10	9	8	11	9	3	9	39
親	11	5	8	18	12	7	12	2	13	1	10	33
周囲から必要とされている実感	18	1	11	9	9	11	11	5			11	26
そのほか	12	4	13	6	8	12	12	2	13	1	12	25
ぐっすり眠れること	18	1	12	7	13	6	9	7			13	21
ペット	16	3	15	5	15	5	10	6			14	19
周囲から大切にされている実感	12	4	15	5	13	6	18	1			15	16
趣味	12	4	15	5	15	5			13	1	16	15
恋人	9	7	13	6	20	1					17	14
おいしい食事	10	6	19	3	17	3			10	2	17	14
家族からの感謝やほめ言葉	18	1	21	2	17	3	12	2	13	1	19	9
友達	12	4	18	4							20	8
恋愛	18	1	21	2	20	1	18	1			21	5
地域や学校、職場での円満な人間関係			21	2	20	1			10	2	21	5
周囲からの信頼・尊敬			19	3	20	1					23	4
才能			24	1	20	1	12	2			23	4
仕事					17	3			13	1	23	4
孫							12	2	10	2	23	4

20代、50代、60代で1位となったのは「自分の健康」。

20代・60代では「夫」が2位、50代は「家族の健康」が2位になっている。

30代・40代は、1~4位が同じ順位で、上から「家族の健康」「自分の健康」「子ども」「夫」の順。

40代は、他の世代に比べて「生きがい」のポイントが低い。

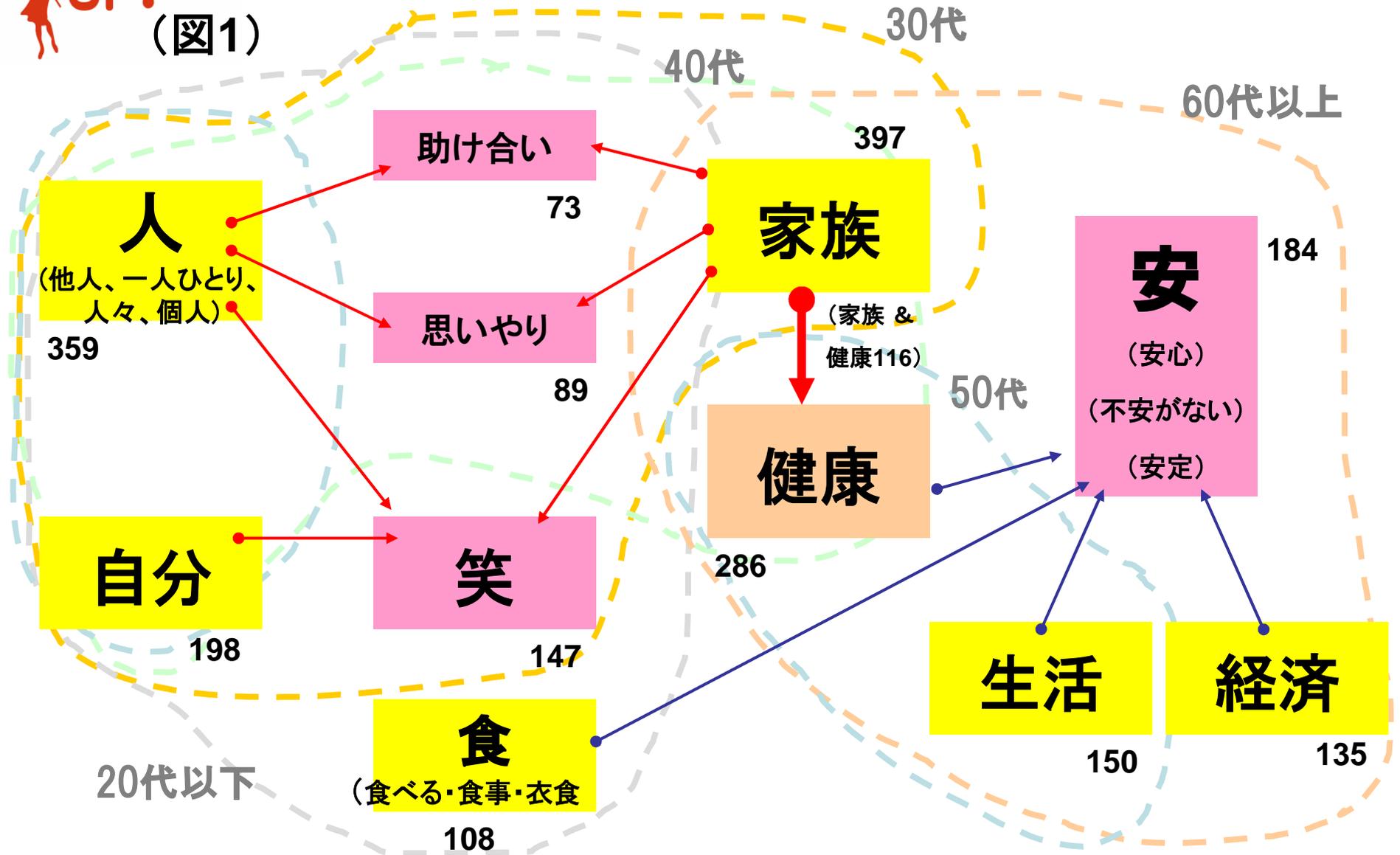
20代は9位に恋人、おいしい食事のウエイトも比較的高い

50代は「家族と過ごす時間」が18位と他の世代に比べて特に低く、睡眠やペットのほう为上



わたしたちの“幸福の尺度”キーワードは？

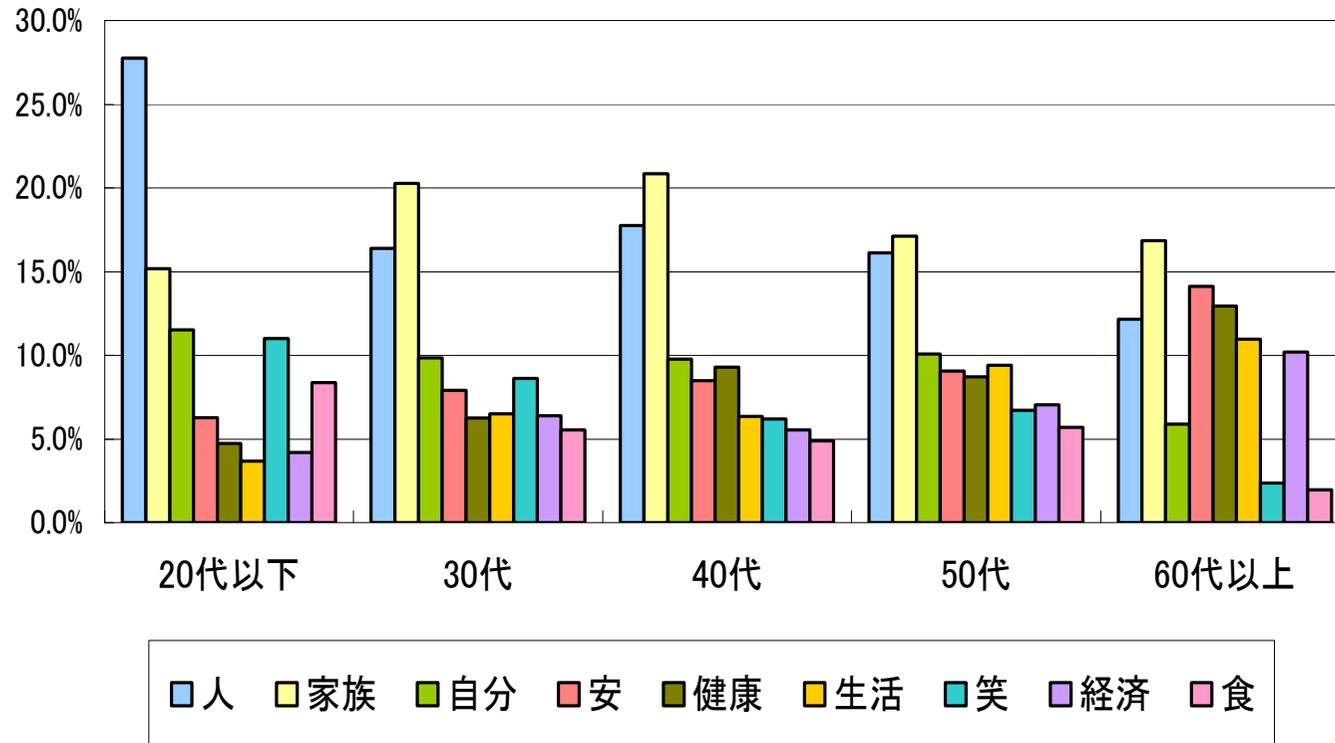
(図1)



ブータンの「国民総幸福量」の考え方を例に挙げ、自分の「幸福の尺度」とは何か、自由に書いてもらった。その中から特に多かったキーワードと、それに関連して使われた言葉を抽出した。数字はそれぞれの出現数。

年代による「幸福の尺度」キーワードの違い

世代別 幸福の尺度キーワード



「幸福の尺度」FAから特に多かったキーワードと、それに関連して使われた言葉を抽出、年代ごとに構成比率を出した。

20代以下では「人」という言葉が特に多く使われた。

「人」は個人、他人、人々などの熟語として、「助け合い」や「思いやり」という文脈のなかで登場するケースが目立った。「笑」「食」も他の世代と比べ頻度が高い。

30代になると「家族」の割合が上昇。「助け合い」「思いやり」「笑」も、「家族」と関連して使われるケースが増加する。40代は「家族」の割合が最も高く、加えて「健康」が上昇。50代からは、「家族」がやや下がり、代わりに「生活」や「経済」の比重が増える傾向。

60代以上では、「自分」「笑」「食」が下がり、「健康」「生活」「経済」が急伸。これらと、安定・安心・不安(がない)などの熟語になって結びつく「安」の文字も多数出現した。

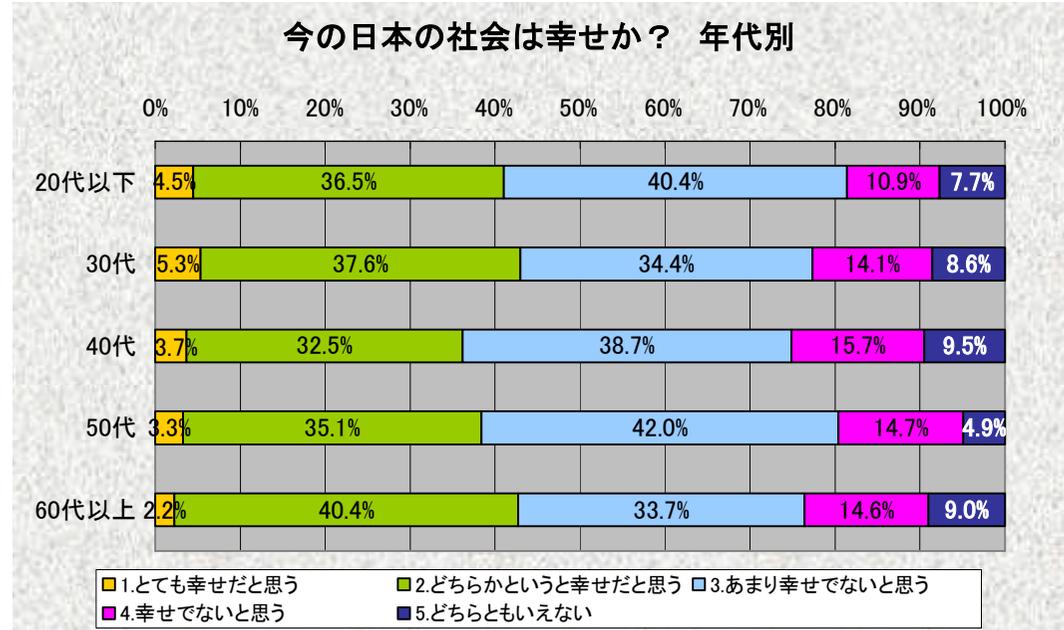
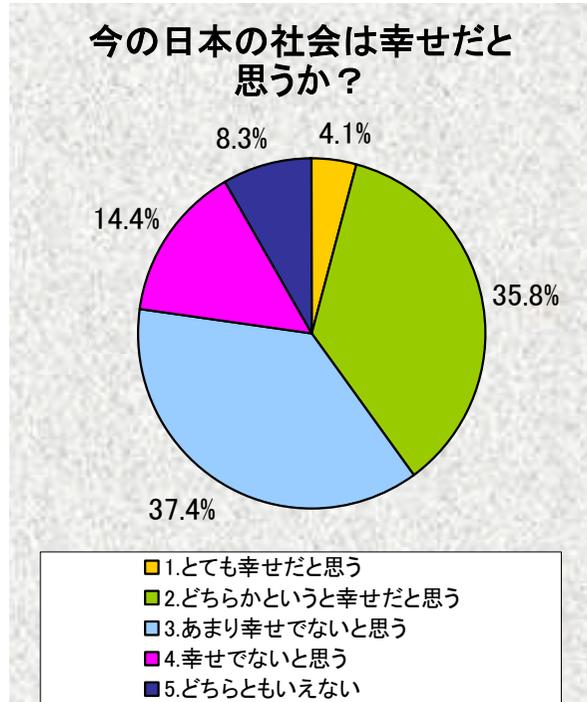
20代以下にとっての「幸福の尺度」は、一般的・抽象的な性格が強い。

30代・40代になると、「自分の家族」を中心とした具体的なイメージを持つようになる。

さらに50代・60代では、「幸福」がよりリアルな“守るべき暮らし”として意識されていることがわかる

日本の社会を「とても幸せ」と感じている人は4.1%

日本社会を“幸せ”ととらえている人は個人の総合的な幸福度も高い傾向がある



今の日本社会について幸せ(とても幸せ+どちらかという幸せ)と思っている人は39.9%、幸せでない(あまり~+幸せでない)と思っている人は51.8%と半数以上を占めた。

個人としては「平均より上でまあまあ幸せ」であるが、自分を取り巻く日本社会はちょっと不幸せと感じる人が多いという結果になった。

年代で見ると、60代・30代が比較的肯定的で、40代はやや否定的である。

また、日本社会への評価別に個人の幸福度平均を算出したところ、「日本を幸せ」と評価する人は、「幸せでない」と答えた人より個人の幸福度が高いことがわかる。

日本社会の幸せと個人の総合的な幸福度

評価	幸福度
Q360. Q24.今の日本の社会は幸せだと思いますか？	
1.とても幸せだと思う	8.02
2.どちらかという幸せだと思う	7.16
3.あまり幸せでないと思う	6.69
4.幸せでないと思う	6.13
5.どちらともいえない	6.31
総計	6.78

「今の日本社会は幸せか？」回答の理由（FAから抜粋）

日本社会を「幸せ」と答えた人は貧困や戦争のある国と比較する傾向。

「幸せでない」と答えた人の多くは将来の不安や政治不信を理由に挙げた。

	コメント	年齢	居住地
とても幸せ	日本での戦争が無い	52	北海道
	日本の厳しい経済状況などいっても、他の貧しい国に比べれば、選択の自由も、経済的にも恵まれていると思う。	33	千葉県
	身近に危機的なことがなく安穩と過ごしているのは幸せなことだと思う	36	兵庫県
	災害はあるけれど、戦争はないので。外国と比べると治安もいいし、日本人に生まれてきてよかったと思います。	27	東京都
どちらかという幸せ	地震の恐怖などはあるが、内戦などの殺し合いがない。	28	埼玉県
	ニュースをつければ、問題が山積みではあるが・・・公共機関がしっかり機能していて、その部分では公正が保たれていると思うから。	36	千葉県
	色々な事がありました。何とか食べていけているのではないかと思うので。	38	栃木県
	隣近所でのかかわりや支え合いなど、自分の意識をかえるだけで、まだまだ築くことができる社会だと思うし、政治や原発や心配なことはいろいろあるけれど、一般の国民は日々生活し続けるしかなく、どんな状況でも小さな幸せをみつけていける社会だ（民族だ）と思います。	42	神奈川県
	少子高齢化で厳しくなってきたとはいえ、まだまだ世界の平均的な水準とくらべると、生活保護を行えるなど経済的にも余裕があり、幸せな方だと思う。ただ全体的に自らの努力不足を棚に上げ、不平不満を持つ人が多すぎると感じています。	47	福岡県
	日本ほど安心、安全に暮らせる国はないと思います。また、東日本大震災の時の我慢強さは世界に誇れる国民性ではないでしょうか。	55	東京都
	世界の中では戦争や飢餓、貧困に苦しんでいる人々がたくさんいる。そういう社会と比較すると日本は平和で幸せだと思う。ただ、個々に見ると日本の中にも困っている人、苦しんでいる人がたくさんいる。特に3・11以降は・・・。首相がコロコロと変わり、役不足の人ばかりなのを見ていてこれからの日本はどうなるのか不安になる。	60	神奈川県

	コメント	年齢	居住地
あまり幸せでない	この国の先が見えない。決してよい方向にいくとは思えない。	29	東京都
	くだらない言い合いをする政治家が日本の今後を本当に考えているとは思えない。心の面で日本は満たされていないと思う。	34	山口県
	格差が広がっていて、社会がぎすぎすしているように感じるため。政治には構造的な改革が必要だと思います	36	愛媛県
	国が崩壊しつつあると思う。本当に根本から変わらなきゃいけない時がきていると思う。	41	東京都
	地震や原発でいまだに苦しんでいる人達がたくさんいて、まだ今の政府はそれを解決していない。景気もなかなか回復していないし、年金問題・雇用問題と多くの問題が山積みされていて、今私個人は幸せでも多くの人達が不幸でいる以上、今の日本はあまり幸せとはいえないと思う。	40	愛知県
幸せでない	閉塞感に満ち満ちている。（経済の閉塞感、社会機構の手詰まり、人間関係の希薄さなど）	53	鹿児島県
	閉塞感に満ち満ちている。（経済の閉塞感、社会機構の手詰まり、人間関係の希薄さなど）	65	岡山県
	少子高齢化で国際競争力もなく、強い国でなくなったから。今後、この生活水準を維持できるのか不安。	29	東京都
	年金問題など、今の日本が抱える問題は山積みだと思う。それを解決できる政治家が全くいないから。	35	大阪府
	政治が安定していないので、社会情勢が整備されない。	49	福島県
幸せでない	震災を経験し、原発事故などいつまで続くかわからないような問題も抱えているのに、人の生活より経済の方が大事かのような国や企業のありかたに、将来的に希望は持てず、幸せとは言えないと思います。	51	千葉県
	若い人の働く場所がない、政治家官僚は無駄を省く様子もなく既得権益にしがみついている。将来の年金崩壊、消費税の安易な引き上げ、放射能汚染。	67	福岡県

10年後の幸せな社会のために大切だと思うこと (5つまで回答)

※黄色は各世代の10位まで、太字は5位まで

ジャンルカラー

暮らしやすさ/生活のゆとり、豊かさ
未来への希望・期待、活力
不安の払拭、安心・安全な社会
国や地域の安定・誇り・自信

10年後を想定し、幸福な社会を実現させる要素を5つまで選んでもらったところ、すべての年代において1位が、年金制度の刷新(将来の経済的な安定)となった。全体の10位までに、不安の払拭や安全・安心の実現に向けた項目が5つ入った。

Q44-1.10年後の幸せな社会実現のために大切だと思うこと (複数回答 5つまで)	計		20代以下		30代		40代		50代		60代以上	
	順位	数	順位	数	順位	数	順位	数	順位	数	順位	数
年金制度が刷新され、将来の経済的不安があまりない	1	900	1	73	1	284	1	282	1	156	1	105
戦争やテロがなく平和である	2	678	2	58	2	230	2	232	4	99	6	59
お年寄りへのケアや介護がしっかり支えられている	3	593	6	43	6	193	4	168	3	103	2	86
景気が回復し、みんなが仕事に就きやすい	4	574	8	36	9	154	3	204	2	105	3	75
地震や台風などの災害への備え、対策がしっかりしている	5	542	6	43	7	183	5	162	5	82	4	72
病気や障害へのケアやサポートが充実している	6	502	3	46	4	162	6	146	6	78	5	70
子供がのびのびと育つことができる	7	494	3	46	3	209	7	143	8	52	7	44
治安がよく、事件や事故が減少している	8	425	5	45	5	160	8	140	7	54	13	26
景気が回復し、所得が上がっている	9	381	10	34	10	145	9	126	10	47	11	29
出産や子育てがしっかり支えられている	10	310	8	36	8	160	17	60	17	35	17	19
日本の美しい自然や景観が大切に守られている	11	263	13	22	13	71	11	91	13	45	8	34
国の借金が減っている	12	246	12	25	12	85	13	80	16	36	16	20
子供が能力を伸ばし、生きる力を身につけることができる	13	237	16	19	17	57	10	92	10	47	15	22
景気が回復し、貧富の格差が少なくなっている	13	237	14	21	16	65	12	81	14	41	11	29
政府や政治が国民から十分に信頼されている	15	229	17	18	15	67	14	73	15	38	9	33
農業や漁業が成長し、食料自給率が上昇している	16	223	19	11	13	71	16	69	9	48	14	24
仕事と育児、家事の両立がしやすい	17	219	10	34	11	108	19	44	20	19	21	14
再生可能エネルギーの開発が進み、原子力発電に頼らずにすんでいる	18	205	22	5	18	51	15	72	12	46	10	31
日本の文化や伝統が大切に守られ、伝えられている	19	173	15	20	19	44	18	59	18	32	19	18
物価が抑えられ、生活必需品などの買い物しやすい	20	120	19	11	21	36	20	38	19	20	20	15
地域と住民、住民同士の間に絆があり、深く結びついている	21	113	18	12	20	41	22	22	20	19	17	19
エコ意識が高く、CO2削減や環境保全が進んでいる	22	87	19	11	22	32	21	25	23	10	22	9
領土や国境の問題が解決している	23	57	26	2	24	10	23	20	22	16	22	9
地域が経済的に潤うことで、さまざまな格差がなくなっている	24	52	22	5	23	15	24	18	23	10	25	4
そのほか	25	38	26	2	26	9	25	17	25	7	27	3
家や土地を借りたり、買ったりしやすい	26	27	26	2	24	10	26	11	27	3	31	1
省エネが進み、電気の消費量が抑えられている	27	26	26	2	26	9	27	8	29	2	24	5
自分の地元が、元気で個性を発揮している	28	22	22	5	28	8	29	5	31	1	27	3
科学技術の研究開発が世界のトップレベルである	29	21	25	3	31	3	28	8	26	5	29	2
情報通信がさらに高度になり、だれでもどこでも簡単に多様な情報や人にアクセスできる	30	14	30	1	29	5	31	2	29	2	25	4
インターネットなど情報通信技術を通じて、人と人、人と社会の絆がさらに強まっている	31	13	33	0	29	5	30	3	27	3	29	2
スポーツや芸術・文化などが世界のトップレベルである	32	5	30	1	31	3	32	1	33	0	32	0
多くの外国人が観光や買い物に訪れている	32	5	30	1	33	2	32	1	31	1	32	0

景気関連では、「仕事に就きやすい」が、「所得の向上」「格差解消」を上回り、特に50代では2位となった。

「お年寄りへのケア・介護」は60代以上で2位、50代で3位、40代で4位。

「子どもがのびのび育つ」は20代以下・30代で3位に入っている。

さらに年代ごとの特徴的な項目を見ると・・・

・60代以上は「自然や景観の保護」が8位、「政府や政治への信頼」が9位

・50代では「食料自給率向上」が9位

・40代は「子どもが生きる力を身につける」が10位

・20代以下で「育児・仕事・家事の両立」が10位(30代では11位)

10年後の幸せな社会のために、もっとも大切だと思うこと (ひとつだけ)

※黄色は各世代の10位まで、太字は5位まで

ジャンルカラー

暮らしやすさ/生活のゆとり、豊かさ
未来への希望・期待、活力
不安の払拭、安心・安全な社会
国や地域の安定・誇り・自信

同じ選択肢からもっとも優先順位の高い要素をひとつだけ選択させると、幸福な社会の前提条件として「戦争やテロがなく平和である」が全年代の1位となった。

Q44-1.10年後の幸せな社会実現のために もっとも大切だと思ふこと (ひとつだけ)	全体		20代以下		30代		40代		50代		60代以上	
	順位	数	順位	数	順位	数	順位	数	順位	数	順位	数
戦争やテロがなく平和である	1	372	1	35	1	129	1	113	1	57	1	38
年金制度が刷新され、将来の経済的不安があまりない	2	245	2	19	2	79	2	74	2	47	2	26
景気が回復し、みんなが仕事に就きやすい	3	160	4	12	7	29	3	58	3	42	3	19
子供がのびのびと育つことができる	4	111	6	8	3	52	6	32	7	9	5	10
景気が回復し、所得が上がっている	5	104	3	14	5	39	4	35	10	7	6	9
治安がよく、事件や事故が減少している	6	102	4	12	4	40	5	34	7	9	9	7
政府や政治が国民から十分に信頼されている	7	99	8	7	6	31	7	31	4	17	4	13
地震や台風などの災害への備え、対策がしっかりしている	8	65	6	8	8	26	9	15	9	8	7	8
景気が回復し、貧富の格差が少なくなっている	9	54	10	5	11	14	12	14	5	15	12	6
病気や障害へのケアやサポートが充実している	10	47	10	5	11	14	9	15	15	5	7	8
国の借金が減っている	11	45	10	5	11	14	12	14	6	10	17	2
子供が能力を伸ばし、生きる力を身につけることができる	11	45	14	4	17	10	8	21	10	7	15	3
お年寄りへのケアや介護がしっかり支えられている	11	45	16	3	14	13	9	15	10	7	10	7
再生可能エネルギーの開発が進み、原子力発電に頼らずにすんでいる	14	44	14	4	10	16	14	10	10	7	10	7
出産や子育てがしっかり支えられている	15	39	10	5	9	22	17	7	16	4	20	1
地域と住民、住民同士の間には絆があり、深く結びついている	16	31	9	6	16	12	21	5	16	4	13	4
農業や漁業が成長し、食料自給率が上昇している	17	24			18	9	14	10	16	4	20	1
そのほか	18	23	18	2	20	5	17	7	14	6	15	3
日本の美しい自然や景観が大切に守られている	19	21	16	3	19	7	17	7	20	2	17	2
仕事と育児、家事の両立がしやすい	20	20	20	1	14	13	20	6				
日本の文化や伝統が大切に守られ、伝えられている	21	16	18	2	23	1	16	9	20	2	17	2
物価が抑えられ、生活必需品などの買い物がしやすい	21	16	20	1	21	3	21	5	19	3	13	4
地域が経済的に潤うことで、さまざまな格差がなくなっている	23	6			23	1	23	3	20	2		
エコ意識が高く、CO2削減や環境保全が進んでいる	24	4			22	2			23	1	20	1
領土や国境の問題が解決している	24	4			23	1	24	1	23	1	20	1
省エネが進み、電気の消費量が抑えられている	26	2			23	1					20	1
家や土地を借りたり、買ったしやすい	27	1	20	1								
スポーツや芸術・文化などが世界のトップレベルである	27	1			23	1						
情報通信がさらに高度になり、だれでもどこでも簡単に多様な情報や人にアクセスできる	27	1			23	1						
インターネットなど情報通信技術を通じて、人と人、人と社会の絆がさらに強まっている	27	1							23	1		
自分の地元が、元気で個性を発揮している	27	1									20	1

10位以内に景気に関する3項目(仕事・所得向上・格差解消)すべてが入り、景気対策に高いプライオリティを感じていることがわかる。

“未来への希望・期待・活力”ジャンルで10位以内に入ったのは、「子どもがのびのび育つことができる」のみ。

複数回答の設問では15位だった「政府・政治への信頼」が7位に入っている。